

三学期の重点目標

基本は「生徒を待ち受ける 生徒より早く、始まるより前に」

「率先垂範」 行動力のある職員集団になりましょう！

☆三学期の重点 学習規律の徹底、一年間のまとめと次年度への準備

- ☆「二分前チャイム席（授業準備）そして、一分前姿勢（姿勢を正し先生を待つ）」に継続して取り組む。
- ☆校務分掌毎の反省と内容の精選、次年度の取り組みの計画。
- ☆生徒による授業評価を分析し、授業改善につなげる。
教科としての改善点と取組目標の設定

学習指導 学力向上 合言葉 「継続・徹底」

- 学力向上プランと検証改善ロードマップを再確認しよう。
 - (1)『めあて』と整合した『まとめ』の活動を明確に位置づけた授業。
 - (2)根拠を明確にして考えを表現する場の設定
 - (3)ねらいに応じた協働学習（ICT活用を含む）
- 活用問題の定期考査への出題を図ろう。
 - (1)学力調査、入試問題等を活用して表現力・思考力の育成を図る。
 - (2)北筑後第2学年学年末考査問題例の活用。
- 校内研修を通じた授業指導力の向上を図ろう。
第3回校内研修会（島先生 道徳）への積極的参加。
- 授業評価を実施し、前期結果との比較・検証を行い授業工夫、改善に努めよう。
- 教室の整理整頓をしよう。（掲示物・ロッカー・黒板・放課後の机、いすの整理）
- 家庭学習の徹底を図ろう。（プラスワンノート、週末課題の継続）

生徒指導

- 気になる生徒への声えかけ。話し込みをしよう。
生活アンケートの活用。教育相談での話し込み。
- 教師自身と生徒との関係性を考えた言葉を使おう。
- 学年内、学年間の情報交換を緊密にしよう。学年主任、各担当の心配り、目配りを。
- 事案の解決については時間をあけない。保護者との連携(信頼性の構築)
- 家庭訪問の徹底。
- 次年度に向け、不登校生徒への丁寧な話し込み、保護者との連絡を密に図ろう。

各学年で

- 1年** 2年生に向けて、先輩としての自覚と行動を身につけさせる。学年生徒会を通して学年集団としての力（学年力）を育てよう。落ち着いた授業態度を育てよう。不登校傾向の生徒の状況を学年職員で共有し、丁寧な対応をしよう。
- 2年** 執行部をリーダーとして育てよう。家庭学習の習慣をつけさせよう。自分の進路目標を早い段階で考えさせていこう。体育祭に向けてリーダーとしての自覚を育てよう。
- 3年** 進路実現、卒業に向けて、ともにがんばる学級・学年の雰囲気をつくろう。進路決定に悩む生徒への話し込み、学習へのアドバイスを丁寧に行おう。学校に來れていない生徒への継続的なかわり。家庭との連絡を密にして進路の保障を図ろう。